

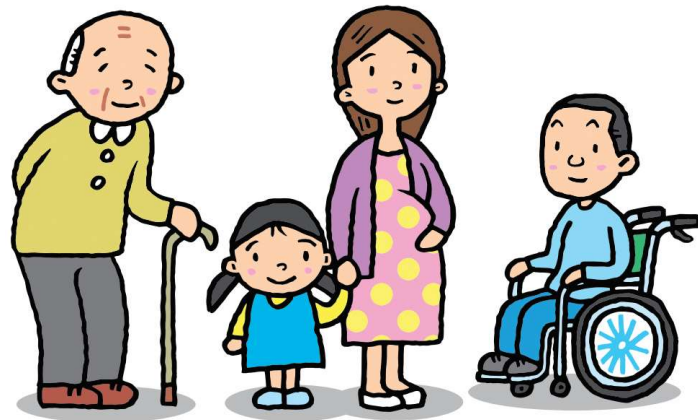
岡山県地区防災計画等作成推進協議会

第2回 個別避難計画研究部会

グループワーク

個別避難計画の作成で必要となる情報と
その収集について

～避難行動要支援者名簿と個別避難計画～



日時:令和3年8月25日(水) 13:00~16:30
場所:Zoomミーティングルーム

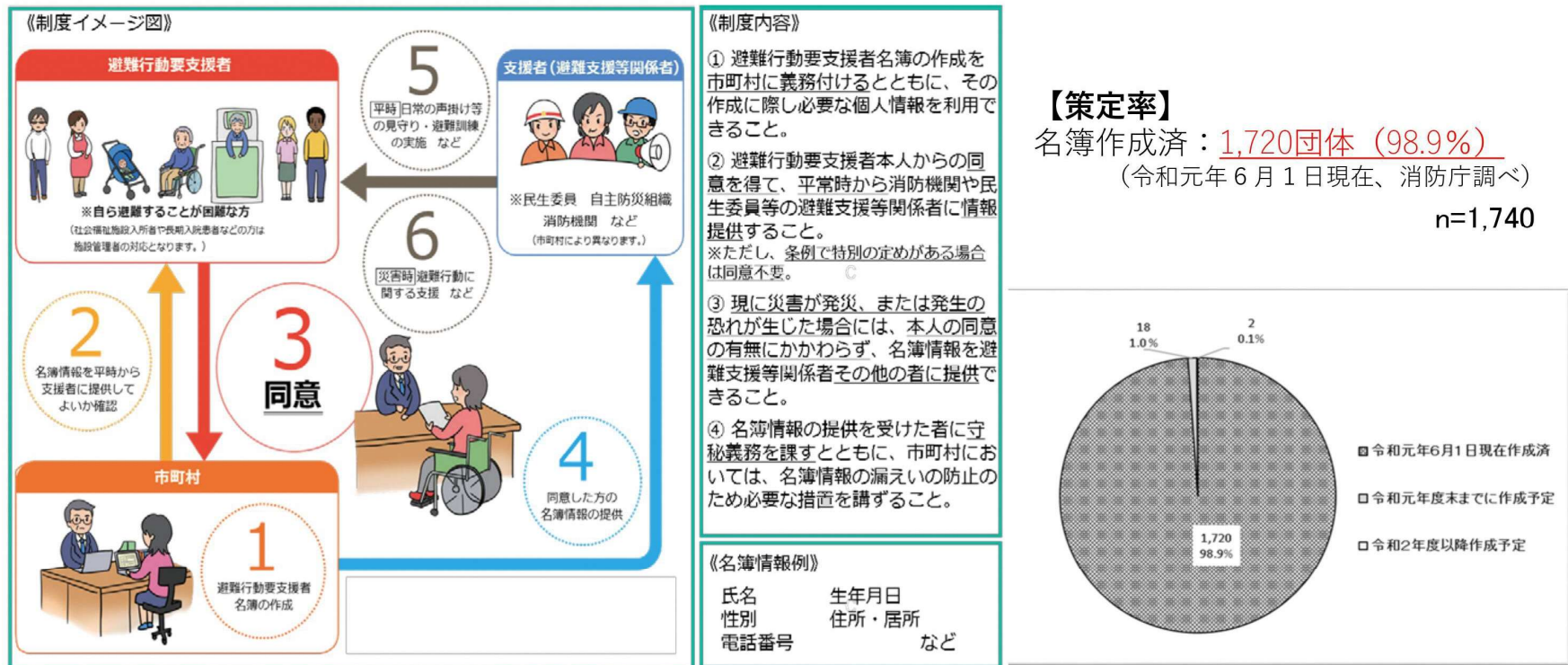
ノートルダム清心女子大学
人間生活学部 人間生活学科
准教授 中井俊雄

避難行動要支援者名簿の概要

平成25年6月の災害対策基本法の一部改正により、市町村に対し、要配慮者のうち、災害発生時の避難等に特に支援を要する方の名簿（避難行動要支援者名簿）の作成を義務付けた制度。

（避難行動要支援者名簿の作成）

第四十九条の十 市町村長は、当該市町村に居住する要配慮者のうち、災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な者であつて、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要するもの（以下「避難行動要支援者」という。）の把握に努めるとともに、地域防災計画の定めるところにより、**避難行動要支援者について避難の支援、安否の確認その他の避難行動要支援者の生命又は身体を災害から保護するために必要な措置（以下「避難支援等」という。）を実施するための基礎とする名簿**（以下この条及び次条第一項において「避難行動要支援者名簿」という。）を作成しておかなければならない。



避難行動要支援者名簿(例1)

番号	氏名	生年月日	性別	郵便番号	住所又は居所	電話番号 その他の連絡先	避難支援等を必要とする事由		その他
							(障害、要介護、難病、療育) の種別	障害等級、要介護状 態区分、療育判定等	

同意を得るための様式例（例2）

フリガナ			
氏名			
生年月日		性別	男 ・ 女
住所			
避難支援等を必要とする事由	<input type="checkbox"/> 介護保険の認定を受けている 要介護状態区分： <input type="checkbox"/> 手帳所持 障害名：() 等級： <input type="checkbox"/> その他 【特記事項】		
電話番号		FAX番号	
携帯電話番号		メールアドレス	

※同意いただいた場合、 の欄に障害名等を記載し、避難支援等関係者に提供します

避難行動要支援者は、避難支援者への情報提供に同意することにより、避難支援者（地域等）から災害発生時における避難行動の際の支援を受ける可能性が高まりますが、避難支援者自身や家族などの安全が前提のため、同意によって、災害時の避難行動の支援が必ずなされることを保証するものではなく、また、避難支援者は、法的な責任や義務を負うものではありません。

上記の内容を理解し、避難の支援、安否の確認、その他の生命又は身体を災害から保護をうけるために、上記内容（氏名、生年月日、性別、住所、障害種別等の内容、連絡先等）及び障害名や病名等を、〇〇市防災計画に定める避難支援等関係者に提供することに、

同意します

趣旨を十分理解した上で、同意しません

同意するかしないかを判断するために、市町村からの詳細な説明を求めます

平成△△年□月◇◇日 氏名_____

避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針
 （平成25年8月内閣府
 （防災担当））

※同意の意思について、変更の申出がない限り自動継続とします。

※避難行動要支援者情報を作成するため、避難支援等関係者が訪問調査を行いますので、その際は御協力ください。

個別避難計画作成の意義

- 避難のための個別計画ですから、避難行動要支援者名簿の情報だけでは不十分です。どのような情報が必要でしょうか？
 - **ふだんの暮らし**（医療・福祉サービス，家族構成，交友関係…）の把握
 - **本人の能力**（できること・できないこと・得意なこと・苦手なこと…）
 - お住まいの居所の**災害リスク**
 - 避難場所等までの**経路**，避難**手段**（人・物…）
 - 避難場所等での配慮事項等
 - 上記の情報を本人と福祉専門職，地域で共有することで，ふだんの交流が広がる
- 変化**
- 地域コミュニティの中で「記録」から「記憶」へ**変化**させることで，「行動」へつながる

個別避難計画の記入例（例3-1）（表）

氏名 ※児童の場合は（ ）で保護者の氏名を記入	ボウイ 花ル 防災 かおる		
生年月日	昭和△年△月△日	年齢	△歳
住所又は居所	東京都□□区□□△-△		
性別	男・ 女	電話番号	03-△-△
携帯番号	090-△-△	FAX番号	なし
メールアドレス	◇◇◇@◇◇.jp		
同居家族等	なし		
避難場所	名称	□区立□小学校	
	住所	東京都□□区□□-△	
緊急時の連絡先①	フリガナ	ボウイ ハコ	
	氏名（団体名）	防災 花子	
	住所	東京都□□区□□-△	
	連絡先	電話番号1：03-△-△ 電話番号2： メールアドレス：なし その他：不在時は携帯へ 090-△-△	
緊急時の連絡先②	フリガナ		
	氏名（団体名）		
	住所		
	連絡先	電話番号1： メールアドレス： その他：	
避難支援等実施者情報①	フリガナ	■フジシホウ ボウイシキ チク 仔吟	
	氏名 (団体名及び代表者)	■地区自主防災組織 会長 地区 一郎	
	住所	東京都□□区□□-△	
	連絡先	電話番号1：080-△-△ 電話番号2： メールアドレス：◇@◇◇ その他：	
避難支援等実施者情報②	フリガナ		
	氏名 (団体名及び代表者)		
	住所	※ 避難支援等実施者を複数記載等 しない場合も想定される。	
	連絡先	電話番号1： メールアドレス： その他：	

※これは例であり、地域において様式に記載すべき事項を検討した上で、各市町村において様式を作成し、利用する。
※特に記載が必要な内容事項がない場合「なし」や「-」と記載等することです。

個別避難計画の記入例（例3-1）（裏）

避難時に配慮しなくてはならない事項	<p>(あてはまるものすべてに☑)</p> <input type="checkbox"/> 介護保険の認定を受けている【要介護状態区分： 】 <input checked="" type="checkbox"/> 手帳所持【障害名：視覚障害 等級：3級 】 <input type="checkbox"/> 難病の特定医療費、小児慢性特定疾病医療費の支給認定を受けている <input type="checkbox"/> 医療機器の装着等をしている <input type="checkbox"/> 立つことや歩行ができない <input checked="" type="checkbox"/> 音が聞こえない（聞き取りにくい） <input checked="" type="checkbox"/> 物が見えない（見えにくい） <input type="checkbox"/> 言葉や文字の理解がむずかしい <input type="checkbox"/> 危険なことを判断できない <input type="checkbox"/> 顔を見ても知人や家族とわからない <input type="checkbox"/> その他
特記事項	<p>・自宅は浸水想定区域内である（最大浸水3m）</p> <p>※特記事項は、法第49条の14第3項第3号に基づき、市町村長が必要と判断した事項を、必要に応じて記載等することが考えられる。 例：自宅で想定されるハザードの状況、心身の身体的な状況、普段いる部屋、寝室の位置、不在時の目印、避難済の目印、自宅で想定されるハザードの状況、移動の際の持ち出し品等 ※特に記載等が必要な場合、「なし」や「-」と記載等することで足りるものとする。 ※改正法施行前に作成された個別避難計画について、改正法に基づく計画とするため追記する場合、準備されている欄では不足する際には、欄外に記載等しても差し支えないと考えられる。（必ずしも様式の変更をしなくても良いと考えられる。）</p>
避難支援時の留意事項	<p>・ご本人は弱視であり、耳も聞こえない状況</p> <p>※避難支援時の留意事項については、避難場所や避難経路の浸水想定区域や土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域、狭陰部、急勾配、段差等 ※必要に応じて「避難場所等情報」に変更し記載等することも想定される。その際は、避難所の位置や自宅からの経路を地図に記載等し、移動するまでの注意点等の記入。 ※特に記載等が必要な場合、「なし」や「-」と記載等することです。</p>

避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針

平成25年8月（令和3年5月改定）内閣府（防災担当）

※これは例であり、地域において様式に記載すべき事項を検討した上で、各市町村において様式を作成し、利用する。
※特に記載が必要な内容事項がない場合「なし」や「-」と記載等することです。

個別避難計画の記入例（例3-2）（表）

氏名 ※児童の場合は（ ）で保護者の氏名を記入	ボウイ 知 防災 太郎		
生年月日	昭和△年△月△日	年齢	△歳
住所又は居所	東京都□□区□□△-△		
性別	男・女	電話番号	03-△-△
携帯番号	090-△-△	FAX番号	なし
メールアドレス	◇◇@◇.jp		
同居家族等	なし		
避難場所	名称	□区立□中学校	
	住所	東京都□□区□□-△	
緊急時の連絡先①	フリガナ	ボウイ ハコ	
	氏名（団体名）	防災 花子	
	住所	東京都□□区□□-△	
	連絡先	電話番号1：03-△-△ 電話番号2： メールアドレス：なし その他：不在時は携帯へ 090-△-△	
緊急時の連絡先②	フリガナ	ボウイ 仔助	
	氏名（団体名）	防災 一郎	
	住所	千葉県□□市□□-△	
	連絡先	電話番号1：03-△-△ 電話番号2： メールアドレス：なし その他：不在時は携帯へ 090-△-△	
避難支援等実施者情報①	フリガナ	チク 知	
	氏名 （団体名及び代表者）	地区 太郎	
	住所	東京都□□区□□-△	
	連絡先	電話番号1：080-△-△ 電話番号2： メールアドレス：◇@◇◇ その他：	
避難支援等実施者情報②	フリガナ	ケンコ サカコ	
	氏名 （団体名及び代表者）	健康 桜子	
	住所	東京都□□区□□-△	
	連絡先	電話番号1：090-△-△ 電話番号2： メールアドレス： その他：	

※ 代理記入が必要な場合は児童の場合と同様の取り扱いを行うことが考えられる。

個別避難計画の記入例（例3-2）（裏）

避難時に配慮しなくてはならない事項	<p>（あてはまるものすべてに☑）</p> <p>☑介護保険の認定を受けている【要介護状態区分：要介護3】</p> <p>☐手帳所持【障害名 等級：】</p> <p>☐難病の特定医療費、小児慢性特定疾病医療費の支給認定を受けている</p> <p>☐医療機器の装着等をしている</p> <p>☑立つことや歩行ができない ☑音が聞こえない（聞き取りにくい）</p> <p>☐物が見えない（見えにくい） ☐言葉や文字の理解がむずかしい</p> <p>☐危険なことを判断できない ☐顔を見ても知人や家族とわからない</p> <p>☐その他</p>
特記事項	<p>・車椅子での生活（自操可）</p> <p>・自宅マンション1階、想定最大規模の洪水が発生した場合、ハザードマップでは2階まで浸水してしまうエリアである（□□川の洪水）</p> <p>・常備薬は□□に保管。かかりつけ医は□□、主治医○○先生</p> <p>・左耳が聞き取りにくいので、話をするときは右側から</p> <p>・電話を使うことができる</p> <p>・寝室はトイレの横の部屋</p>
避難支援時の留意事項	<p>・□□区水害ハザードマップ△ページ参照</p> <p>・避難所は自宅より徒歩5分程度</p> <p>・避難所（□□中学校）の前の道には段差があり注意が必要</p> <p>・避難所（□□中学校）にはEVあり</p> <p>・避難経路 自宅⇒○○信号を左折⇒○○交差点を右折⇒直進⇒□中学校正門</p>
	<p>国土地理院地理院地図より</p>

記入例3-1より詳しい内容を記載。市町村が予め特記事項に必要な内容を決めている想定。

記入例3-1より詳しい内容を記載。自宅から避難所までの経路図や留意事項を記載している。

避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針

平成25年8月（令和3年5月改定）内閣府（防災担当）

※これは例であり、地域において様式に記載すべき事項を検討した上で、各市町村において様式を作成し、利用すること。 ※特に記載が必要な内容事項がない場合「なし」や「-」と記載等 することで足りるものとする。

個別避難計画の作成・更新・提供に関し避難行動要支援者の同意を得るための様式例

令和△△年□月◇◇日

個別避難計画は、高齢者や障害者等などの避難行動要支援者の名簿である避難行動要支援者名簿に掲載される方お一人ごとに、避難支援を行う人や避難先等を記載等した計画です。この計画は、避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難を図るために作成するものです。作成に当たっては、作成に必要な範囲で、避難支援等実施者の候補者や避難先の候補施設の施設管理者などの関係者に、名簿情報を提供します。

個別避難計画の完成後は、①平常時は避難支援等関係者に、②災害が発生し、又は発生するおそれがある場合には、避難支援等の実施に必要な限度で、避難支援等関係者その他の者に、個別避難計画情報を提供します。

以上のことを承知し、個別避難計画の作成に同意することにより、避難行動要支援者（あなた）は、避難支援等実施者から災害が発生し、又は、発生するおそれがある場合における避難行動の際の支援を受ける可能性が高まりますが、避難支援等実施者自身やその家族などの安全が前提のため、同意によって、災害時の避難行動の支援が必ずなされることを保証するものではなく、また、避難支援等実施者などの関係者は、法的な責任や義務を負うものではありません。

上記の内容を理解し、避難の支援、安否の確認、その他の生命又は身体を災害から保護を受けるために、

個別避難計画を作成・更新することに、

- 同意します
- 趣旨を十分理解した上で、同意しません
- 同意するかを判断するために、市町村からの詳細な説明を求めます
⇒ 同意します

作成・更新の同意欄、情報提供の同意欄の2か所それぞれにチェックし、氏名を記入する。

個別避難計画を提供することに、

- 同意します
- 趣旨を十分理解した上で、同意しません
- 同意するかを判断するために、市町村からの詳細な説明を求めます
⇒ 同意します

個別避難計画作成の同意については、
① 市町村で記載等できる項目を入力した状態で避難行動要支援者に確認する方法
② 事前に同意をいただき記入を開始する方法等が考えられる。

署名 防 災 太 郎

避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針
平成25年8月（令和3年5月改定）内閣府（防災担当）

(様式例 1-表)

記入例

避難行動要支援者のための個別支援計画 (マイプラン)

基礎情報	ふりがな 氏名	ひょうご いちろう 兵庫 一郎	年齢	53 歳	性別	男・女	
	住所	神戸市中央区下山手通 5-10-1					
	電話	078-XXX-XXXX	F A X	078-XXX-XXXX			
	E-mail	Ichiro_Hyogo@abc.com					
	家族構成・同居情報等	両親は京都府在住 疎遠でほとんど連絡なし 妹（大阪府在住）が隔週 で様子を見に来る 4 年前に障害者支援施設 を退所後、グループホーム 生活を経て、昨年 7 月 から一人暮らし	居住建物	建築時期 昭和 63 年	構造	木造 2 階建	
		耐震診断	未実施	家具固定	未実施		
		※寝室の位置、普段いる部屋等					
	見取図						
要支援情報	介護認定	(認知症) 有・無					
	障害者手帳	身体障害者手帳 3 級 (体幹)、療育手帳 A (知的、自閉症)					
	その他留意事項						
利用中の医療福祉サービス	介護保険 / 総合事業	サービス 事業所名				電話	
	障害福祉 / 児童福祉	サービス 事業所名	居宅介護 GENKI 介護事業所			電話	XXX-XXXX
	医療機関	名称	ひょうご整形外科クリニック			電話	XXX-XXXX
	家族等急連絡先	① ふりがな 氏名	ひょうご はなこ 兵庫 はなこ	続柄等	妹	住所	大阪府池田市〇〇〇
	電話	XXX-XXXX	F A X	XXX-XXXX	E-mail	XXX@bbb.or.jp	
	② ふりがな 氏名	こうべ たかし 神戸 たかし	続柄等	親戚等	住所	神戸市中央区〇〇〇	
	電話	XXX-XXXX	F A X	XXX-XXXX	E-mail	XXX@ddd.or.jp	
緊急時の情報伝達	できるだけゆっくりと分かりやすい言葉を使用する。 漢字の多い書類は理解が困難であるため、図やひらがな、ルビを活用する。						
特記事項	歩行は可能だが、体幹障害があるため迅速な移動は困難である。 パニックの際は自傷行為の可能性はある。						

(様式例 1-裏)

避難誘導時の留意事項	介助者による強制的な移動はパニックをもたらす恐れがある。自力歩行が可能であるため、差し迫った危機ではない限り、避難の必要性を分かりやすく説明し、誘導することが望ましい。また、人見知りであるため、できるだけ面識のある近隣住民が支援を行う方が良い。
避難時携行医薬品等	オキシトシン、リスパダール
避難先での留意事項	他人との接触が苦手であり、混雑した環境ではパニックになる可能性が高い。できるだけ個室環境を用意することが望ましい。なお、●●商店の店主 A 氏に信頼を置いており、本人の不安感が大きい場合は A 氏と話をすると落ち着きを取り戻す可能性がある。
避難場所 避難経路	避難場所：〇〇小学校
備考	〇〇小学校の前は道路が狭く、避難者で混雑することが予想されるので、混乱しないようにゆっくりと誘導する。

避難支援者	①	ふりがな 氏名	ひょうご じろう 兵庫 二郎	続柄等	近所	住所	神戸市中央区〇〇〇
		電話	XXX-XXXX	F A X	XXX-XXXX	E-mail	XXX@ggg.or.jp
	②	ふりがな 氏名	ひょうご きぶろう 兵庫 三郎	続柄等	近所	住所	神戸市中央区〇〇〇
		電話	XXX-XXXX	F A X	XXX-XXXX	E-mail	XXX@hhh.or.jp
	③	ふりがな 氏名	ひょうご しろう 兵庫 四郎	続柄等	近所	住所	神戸市中央区〇〇〇
		電話	XXX-XXXX	F A X	XXX-XXXX	E-mail	XXX@jjj.or.jp

平成 29 年 5 月 20 日

上記の内容について、誤り等がないことを確認しました。

氏名 兵庫 一郎

代理署名

(本人との関係)



【事例】福祉専門職が参画した個別計画の策定(大分県別府市・兵庫県)

全国の先進的な取組

○福祉サービスの利用のためのケアプランを作成することを通じ、平時から避難行動要支援者本人の心身の状況や生活実態等を網羅的に把握している介護支援専門員(ケアマネジャー)や相談支援専門員等の福祉専門職の参画の下、本人や家族、地域住民、行政等が連携して、個別計画の策定を行う取組が行われている。

ポイント

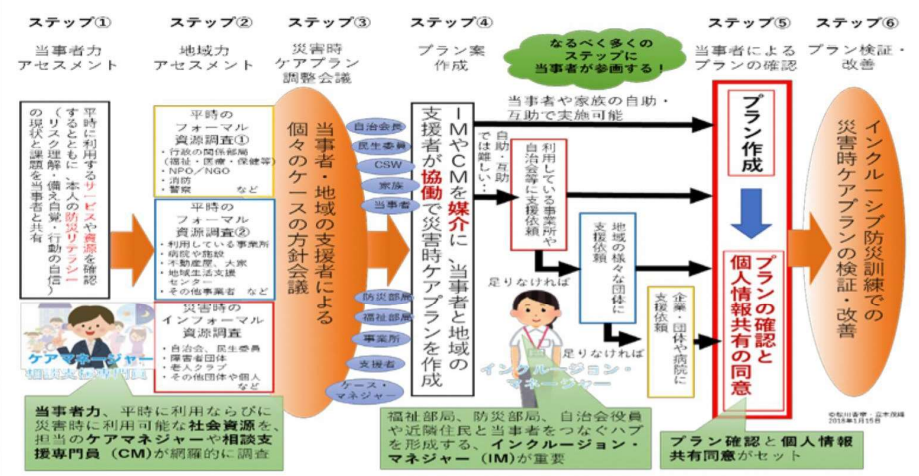
- 介護支援専門員(ケアマネジャー)や相談支援専門員等の福祉専門職の参画を得るための仕組みとして、計画の策定に対して報酬を支払う。
- 福祉専門職が当事者と相談し、避難に際して必要な配慮等について整理した上で、避難行動要支援者と地域住民等の関係者が参加して避難支援の方針について打合せを行い、個別計画を策定する。
- 策定した計画をもとに当事者を含めた関係者が参加し、避難訓練を実施するとともに、必要に応じ計画の見直しを行う。
- 当事者と福祉専門職、地域住民等とをつなぐ役割を担うことのできる人材が重要となる。

別府市の事例

別府市におけるインクルーシブ防災 「誰ひとり取り残さない防災」



被災地の教訓から市民活動者と協働で障がい当事者が参加する避難訓練等に取り組んできた別府市では、平成29年度より介護支援専門員(ケアマネジャー)や相談支援専門員等の福祉関係者が参加し、当事者や地域、行政等が連携して個別避難計画作成に取り組んでいる。

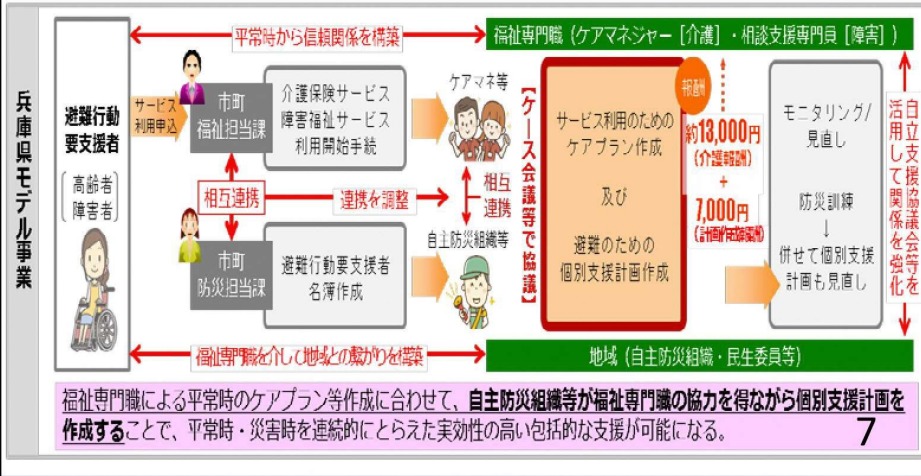


兵庫県の事例

防災と福祉の連携促進モデル事業



平成30(2018)年度より介護支援専門員(ケアマネジャー)や相談支援専門員の協力を得て、平常時のケアプラン等の作成に合わせ、地域で避難のための個別支援計画を作る「防災と福祉の連携モデル事業」を実施。令和2年度より、県の一般施策として実施。



【事例】福祉専門職や社会福祉協議会が参画した個別計画の策定

福祉専門職（ケアマネジャー、相談支援専門員）が参画している事例

<茨城県古河市>

- ・要支援者名簿に掲載された方々について、担当のケアマネジャーや相談支援専門員等に作成を依頼。
- ・平成30年度に試行的に事業を開始し、令和元年度より制度化。名簿掲載者11,224名のうち、令和2年9月までに694名分の策定が完了。
- ・令和元年台風第19号においては、個別計画に沿って避難が実施され、要支援者本人からは「余裕を持って避難でき、安心だった」という声があるほか、担当するケアマネジャーからも「利用者の災害時の安心につながる」という声があるなど、早期の避難行動につなげることができた。

<東京都荒川区>

- ・要支援者名簿に掲載された方々について、担当のケアマネジャーに作成を依頼。
- ・平成30年度より事業を開始し、令和元年10月時点の名簿掲載者で希望する290名程度について策定が完了。今後も名簿更新に合わせ、個別計画も更新する。

<愛媛県四国中央市>

- ・障害福祉サービス利用者のうち計画作成の同意を得られた者について、担当の相談支援専門員に作成を依頼。
- ・平成29年度より事業を開始し、令和2年度現在、市全体におけるサービス利用者1,019名のうち、109名について策定が完了。

※古河市、荒川区、四国中央市は、ケース会議や訓練を通じた検証は事業に含まれていない

※別府市や兵庫県的事例を参考に、今後事業化を検討している自治体・・・滋賀県、静岡県 など

社会福祉協議会が参画している事例

<岩手県奥州市>

- ・計画策定に関する業務や平時の見守り支援について、市の社会福祉協議会へ委託している。
- ・社協の職員は全体のコーディネート役を務め、個々の計画は各地区の民生委員が中心となって策定する。
- ・策定の際には、平時の見守り支援の目的で社協が実施している地域セーフティーネット会議（民生委員や町内会役員等が構成員となり、社協職員がサポート）の場を活用し、平時の支援の仕組みを活かした体制づくりを行っている。

<福岡県久留米市>

- ・計画策定に関する業務を、市の社会福祉協議会へ委託している。
- ・社協の職員がコーディネート役となり、本人を中心に家族や地域の人々の参画を確保して、福祉の専門職などが協議をして策定する。

<熊本県熊本市>

- ・計画策定に関する業務を、市の社会福祉協議会へ委託している。
- ・実際の作成は地域住民が主体となり、社協の職員は地域のサポート役として、地域の取組のフォローをしている。

グループワーク

- (1) グループディスカッション
- (2) 各班発表
 - ・ 議論で気づいたことや感じたこと等
- (3) 講師による総括コメント

グループワーク

個別避難計画を作成するために
どのような情報が必要でしょうか？

- ① 自治体が持っているどのような情報が活用できるでしょうか？
- ② 本人・家族・地域から聞き取らなければならない情報を具体的にあげてください。

事例設定

- ・ 名 前：岡山 花子
- ・ 年 齢：85歳
- ・ 性 別：女性
- ・ 介護度：要介護1
- ・ 住 所：〇〇市△△町・・・
- ・ 家 族：長らく独居、夫は5年前に他界、子どもは市外と県外
- ・ 居住地の状況
 - ・ 土砂災害警戒区域（土石流）となっている。
 - ・ 隣の家とは並んでいるが隣は空き家で、一番近い住人の家まで20m離れている。
 - ・ 家の周りは田んぼが多い。公民館までは1km離れている。
 - ・ 公民館までの間に橋を渡る必要がある。